

**コロナ危機をのりこえる
新しい社会をめざして**

特定非営利活動法人ほっとプラス理事
 聖学院大学心理福祉学部

藤田 孝典

自己紹介



- 藤田孝典
- 首都圏で生活困窮者支援を行うソーシャルワーカー。
- 生存のためのコロナ対策ネットワーク共同代表。
- クルド人の生存権を守る実行委員会共同代表。
- NPO法人ほっとプラス理事。
- 反貧困ネットワーク埼玉代表。
- ブラック企業対策プロジェクト共同代表。
- 厚生労働省社会保障審議会特別部会委員(2012年)。
- 著書に『棄民世代』(SB新書 2020)『中高年ひきこもり』(扶桑社2019)『貧困クライシス』(毎日新聞出版 2017)『続・下流老人』『下流老人』(朝日新聞出版 2015・2016)『貧困世代』(講談社 2016)など多数。



**コロナ災害を乗り越える
いのちと暮らしを守る
なんでも電話相談会**
 (無料・全国いっせい)

住まい 生活保護 労働 借金 etc

日時 6月6日(土) 10:00~22:00

新型コロナウイルスの影響が全国に広がっています。弁護士、司法書士、社会福祉士、労働問題の専門家などが無料で相談にお答えします。お困りの方、お気軽にご相談を!

※火曜
コロナを理由に雇止めになった、解り上げの無期して、管理が厳格でない、家賃が払えず、追い出されないか心配、収入がなくなり、生活保護を受けたい、補助制度を知りたいか、どうすれば、

0120-157930

〓「コロナ災害を乗り越えるいのちと暮らしを守るなんでも電話相談会」実行委員長
 〓心身障害 18歳未満児童 障害 43歳 31101 〓電話 2 〓埼玉県社会福祉協議会 〓048-842-0115

生活保護問題対策全国会議アクション



電話相談会の特徴

相談者の多くが労働問題に起因した生活困窮であり、**労働問題と貧困問題が地続き**。

雇用・労働問題のセーフティネットが破られると、貯蓄が少ないため、猶予なく生活困窮。労働と福祉を結びつけて対応する必要性が明確に浮かび上がる。

女性相談の多さは顕著。飲食、小売、宿泊、観光は**非正規女性労働者が多い産業**。

リーマンショック(男性の派遣・非正規製造業)との大きな差異。

→雇用保険の失業給付期間が切れた後の生活困窮問題が今から予測できること。早ければ**年末に大量の女性困窮者**。

→期限付の**社会保障からの延長、恒常化へ**

寄せられる相談内容

<象徴的な事例>

- 20代女性、派遣社員、自動車工場、勤続10ヶ月。6月末での契約更新を断られた。3ヶ月ごとの契約更新。6月以降は未定という派遣労働。
- 50代男性、個人事業主、インターネット回線の販売。生活に困窮しており、食事もとれず、病院にも行けない。
- 30代女性、派遣社員で旅行会社添乗員。ツアーごとに派遣契約を結んでいる。コロナの影響でツアーが中止。仕事がない。
- 70代女性、清掃のアルバイト。店が休業になり、3月から収入が0。生活保護は受けられるのか。夫は入院中である。

クルド人の生存権を守る実行委員会について

埼玉県川口市や蕨市などで生活するクルド人の支援を行っている団体。

クルド人の多くは難民として来日しているが難民認定申請が認められず、多くは在留資格「特定活動」、そして在留資格がなくなった場合には「仮放免」という就労することも社会保障を利用することも禁止されている状態で、日本で生活している。

クルド人を始め外国人の多くは、コロナウイルスの影響でこれまで以上に生活に困窮しているが、ほとんどの外国籍住民は生活保護の受給対象と原則的になっていない。外国籍住民をはじめ、普遍的に日本で暮らすすべての人々の生存権を守るために、実行委員会として取り組んでいる。

クルド人の生存権を守る実行委員会について

- ・共同代表: 藤田孝典(NPO法人ほっとプラス代表理事)、稲葉奈々子(NPO法人移住者と連帯するネットワーク)、松澤秀延(クルドを知る会代表)
- ・事務局長: 岩橋誠(NPO法人POSSE外国人労働サポートセンター)
- ・加盟団体: クルドを知る会、反貧困ネットワーク、反貧困ネットワーク埼玉、NPO法人ほっとプラス、NPO法人POSSE、総合サポートユニオン、埼玉県民主医療機関連合会、移住者と連帯する全国ネットワーク貧困対策PT、新型コロナ災害緊急アクション、一般社団法人日本クルド文化協会、首都圏移住労働者ユニオン、首都圏生活保護支援法律家ネットワーク、フードバンク埼玉、クルド難民弁護団弁護士有志、埼玉県生活と健康を守る会連合会、NPO法人北関東医療相談会

仕事や生活に困っている 外国人のための相談会

しごと せいかつ こま
がいこくじん そうだんかい

お金がない... 家賃を払えない...
就労申請をしたい...
仕事にくびになった...
病院に行きたい...
食べ物がほしい...

2020/11/1 (日) 10:00~16:00
キューポ・ラ広場 (川口駅東口公共広場)

相談にお金はいりません。予約はいりません (10:00から16:00まで、いつでも来てください)
弁護士やNPO、医師がお話を聞きます

相談・ボランティア・取材などのお問い合わせ
クルド人の生存権を守る実行委員会 事務局(岩橋)
メール: righttolivekurds@gmail.com



外国人のための相談会

日時: 2020年11月1日 10時から16時
場所: 川口駅東口公共広場(キューポ・ラ広場)
相談件数 123人(同席者を含めると300人以上が相談に訪れた)→男性 48人 女性 66人 不明 9人
相談者の所在地
→埼玉県川口市:100人 埼玉県蕨市:14人 その他:9人
相談者の国籍
→トルコ 109人 バングラデシュ/中国/ネパール/イエメン 1人ずつ 不明 10人
相談者の在留資格
特定活動:70人 仮放免:44人 その他:9人